

相談室だより

No.4

平成 30 年 2 月 28 日(水)
石川県立金沢桜丘高等学校相談課



2月9日(金)、一年生を対象に、人権を考える第一歩として、
「自分自身を最も大切にする」
「異文化を理解し、人種差別や偏見について考える」
ことを目的に人権教育講座を開きました。

演題 「マレーシアの子どもたちが教えてくれたこと
～点から線へ、人生はつながっているとわかった日」

講師 本校相談課教員

そのときの感想文を次に紹介します。「なぜ自分のことを大切にすべきか、国際協力はどうあるべきか、人間の幸せとは何か」について考える機会になったことが伝わってきました。

僕は今回の講座で、自分を大切にすることの重要さがわかりました。先生が、マレーシアの子どもたちは自分のことを愛していると言っていたように、自分も自分自身を大切にできるようになりたいと思いました。自分のことを大切にすれば、自分自身のことがよく見えるようになって、自分の可能性をさらに広げることができると思いました。この講座で学んでことを生かしていきたいです。 《106Hの生徒》全文

先生の話聞いて、マレーシアとはどのような所わかりました。多民族国家で自国の文化を大切にしていることが素晴らしいと思いました。日本の文化には消えつつあるものがある気がします。胸を張って、自国の文化を愛することが大切だと思います。世界には様々な文化があり、お互いを理解し、国同士で対等な立場を保ち、助け合える関係が理想的で、私たちが目指すべきものだと感じました。 《102Hの生徒》全文

《101Hの生徒》抜粋要約

• 今日の話聞いて、どんなに無理と言われても挑戦してみたいと思った。「全ては時に適って美しい」という言葉は、そのまま先生の人生だ。私も努力し、夢を叶える！

(以下、省略)

Pelajar pelajar, terima kasih banyak!!

生徒のみなさん、ありがとう!

